

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2005-101714 (P2005-101714A)

【公開日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-015

【出願番号】特願 2003-329740 (P2003-329740)

【国際特許分類】

**H 0 4 N      5/225      (2006.01)**

**G 0 3 B      17/02      (2006.01)**

**G 0 3 B      17/04      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N      5/225      Z

H 0 4 N      5/225      B

G 0 3 B      17/02

G 0 3 B      17/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 11 日 (2006.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影装置本体にヒンジ部材を介してモニタが開閉自在に設けられた撮影装置において、前記モニタと前記ヒンジ部材との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材に対して前記モニタを回転自在に支持する回転支持部材と、

前記モニタと前記撮影装置本体との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材を前記撮影装置本体の第 1 の面部と第 2 の面部とに移動自在に支持する移動支持部材と、

を備え、前記移動支持部材を介して前記ヒンジ部材を前記撮影装置本体の第 1 の面部又は第 2 の面部に移動させることにより、前記モニタを前記撮影装置本体の第 1 の面部又は第 2 の面部に開閉自在に設けたことを特徴とする撮影装置。

【請求項 2】

撮影装置本体にヒンジ部材を介してモニタが開閉自在に設けられた撮影装置において、前記モニタと前記ヒンジ部材との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材に対して前記モニタを回転自在に支持する回転支持部材と、

前記撮影装置本体に設けられ、前記ヒンジ部材が着脱自在に取り付けられるヒンジ取付部であって、前記ヒンジ部材を上下反転可能に支持し、該ヒンジ部材を上下反転させて支持することにより、前記モニタが前記撮影装置本体の第 1 の面部又は第 2 の面部に配置されるヒンジ取付部と、

を備えたことを特徴とする撮影装置。

【請求項 3】

前記ヒンジ取付部は、前記撮影装置本体の前面に設けられるとともに、前記ヒンジ部材には、バッテリー装着部が設けられ、該バッテリー装着部は、前記モニタに対して前記装置本体の他方側の側面に配置されることを特徴とする請求項 2 に記載の撮影装置。

【請求項 4】

撮影装置本体の前面に撮影レンズを備えるとともに、側面にヒンジ部材を介してモニタ

が開閉自在に設けられた撮影装置において、

前記モニタと前記ヒンジ部材との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材に対して前記モニタを回転自在に支持する回転支持部材と、

前記ヒンジ部材と前記回転支持部材を介して前記モニタの表示面が前記撮影装置本体の前方に向けられたことを検出する検出手段と、

前記撮影レンズのマクロ機能をON/OFFする制御手段であって、前記検出手段で前記モニタの表示面が前記撮影装置本体の前方に向けられたことが検出されると、前記撮影レンズのマクロ機能をONにし、前記撮影装置本体の前方以外の方向に向けられたことが検出されると、前記撮影レンズのマクロ機能をOFFにする制御手段と、

を備えたことを特徴とする撮影装置。

【請求項5】

前記制御手段による制御の停止を指示する指示手段を備え、前記制御手段は、該指示手段から制御の停止の指示を受けると、前記撮影レンズのマクロ機能の制御を停止することを特徴とする請求項4に記載の撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1に係る発明は、前記目的を達成するために、撮影装置本体にヒンジ部材を介してモニタが開閉自在に設けられた撮影装置において、前記モニタと前記ヒンジ部材との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材に対して前記モニタを回転自在に支持する回転支持部材と、前記モニタと前記撮影装置本体との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材を前記撮影装置本体の第1の面部と第2の面部とに移動自在に支持する移動支持部材と、を備え、前記移動支持部材を介して前記ヒンジ部材を前記撮影装置本体の第1の面部又は第2の面部に移動させることにより、前記モニタを前記撮影装置本体の第1の面部又は第2の面部に開閉自在に設けたことを特徴とする撮影装置を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、請求項2に係る発明は、前記目的を達成するために、撮影装置本体にヒンジ部材を介してモニタが開閉自在に設けられた撮影装置において、前記モニタと前記ヒンジ部材との連結部に設けられ、前記ヒンジ部材に対して前記モニタを回転自在に支持する回転支持部材と、前記撮影装置本体に設けられ、前記ヒンジ部材が着脱自在に取り付けられるヒンジ取付部であって、前記ヒンジ部材を上下反転可能に支持し、該ヒンジ部材を上下反転させて支持することにより、前記モニタが前記撮影装置本体の第1の面部又は第2の面部に配置されるヒンジ取付部と、を備えたことを特徴とする撮影装置を提供する。